

更新プログラム提供のご案内

お客様 各位

Galileopt DXにつきまして、以下の内容に対応した更新プログラムを提供いたします。お客様におかれましては、当案内をご確認いただき、更新プログラムの適用をお願いいたします。

<主な対応内容>

- ・財務大将 改正対応
- ・給与大将 2026年（令和8年）3月改正対応
- ・固定資産管理 新リース会計基準対応
- ・リース資産管理 新リース会計基準対応
- ・ワークフロー 機能改良および不具合対応
- ・各システムの機能改良および不具合対応

1. システムの対応内容について

対応内容は以下のとおりです。

【Galileopt DX 財務大将】

- 改正対応
 - ・「使用権資産」「リース負債」の勘定科目をコード体系に追加しました。
既存の会社データへの勘定科目の追加については、[「Galileopt DX 財務大将 新リース会計基準対応 新しい勘定科目について」](#)を参照してください。

【Galileopt DX 給与大将】

- 2026年（令和8年）3月改正対応
 - ・子ども・子育て支援金の制度開始に対応しました。
 - ・通勤費・駐車場代の非課税限度額に関する改正に対応しました。
- ※改正・改良等の詳細については、[「給与大将「2026年（令和8年）3月改正対応」について」](#)を参照してください。

【Galileopt DX 固定資産管理】

- 新リース会計基準対応
 - ・『会社基本情報登録』に[会計基準第34号適用区分]を追加しました。
会計基準第34号（新リース会計基準）を適用する場合は、この区分を「1：適用する」に変更します。
 - ・『資産種類』の80～89に「不動産リース」「借地権」の資産性格を追加しました。
※追加された資産種類の資産性格コード範囲の初期値はバージョンアップ時の登録状況によって異なります。
 - ・『資産種類』に[資産範囲・コード変更]機能を追加しました。
資産性格コード範囲、および資産コードの見直しが必要な場合に変更できます。
 - ・『物件登録』『減価償却内訳表』などの処理について、新リース会計基準に関連した項目の登録、集計に対応しました。

【Galileopt DX リース資産管理】

- 新リース会計基準対応
 - ・『会社基本情報登録』に[会計基準第34号適用区分]を追加しました。
会計基準第34号（新リース会計基準）を適用する場合はこの区分を「1：適用する」に変更します。
 - ・『資産種類』の80～89に「不動産リース」「借地権」の資産性格を追加しました。
※追加された資産種類の資産性格コード範囲の初期値はバージョンアップ時の登録状況によって異なります。
 - ・『資産種類』に[資産範囲・コード変更]機能を追加しました。
資産性格コード範囲、および資産コードの見直しが必要な場合に変更できます。
 - ・『物件登録』『リース資産減価償却内訳表』などの処理について、新リース会計基準に関連した項目の登録、集計に対応しました。
 - ・新リース会計基準適用後のリースに関する注記事項の確認、申告の参考資料として新規帳票『注記確認表』『申告調整確認表』を追加しました。
 - ・『リース資産→財務大将連動』で「使用権資産計上仕訳」「リース負債支払仕訳」の起票に対応しました。

【Galileopt DX ワークフロー】

- 機能改良および不具合対応
 - ・処理名称に指定した伝票・申請書グループ削除により無効化された承認ルートについても一覧にて表示されるように対応しました。
 - ・申請書検索の検索項目の初期値を空白でセットするように対応しました。
 - ・在職区分が「休職」である場合でも、対象申請書について申請処理が行えるように対応しました。
 - ・承認ルート登録の申請部門選択時に、初期値として依頼先のチェックが入るように対応しました。
 - ・申請書入力において口座情報出力設定により出力される口座番号が7桁未満の場合、前ゼロ補完された形式で表示されるように対応しました。

【各システムの機能改良および不具合対応について】

機能改良および不具合対応については、[【Galileopt DX システム対応一覧】](#)をご参照ください。

2. オンラインアップデートについて

オンラインアップデートでは更新プログラムが自動でダウンロードされますが、バージョンアップは通常、自動では実行されません。ダウンロード後に必ずバージョンアップを実行してください。

※自動インストールの設定を行っている場合は、自動でバージョンアップが実行されます。

※オンラインアップデートの詳細につきましては、DVD-ROMのManual > インストール手順書フォルダー内の「Galileopt DX MJSオンラインアップデート.pdf」をご参照ください。

3. バージョンアップについて

- (1) バージョンアップの方法につきましては、DVD-ROMのManual > インストール手順書フォルダー内の「Galileopt DX バージョンアップ手順書.pdf」をご参照ください。
- (2) バージョンアップを行う前に、必ずデータをバックアップしてください。
- (3) 本プログラムを適用した場合には、クライアントおよびWebクライアントでのセットアップが必要です。
- (4) Ver.1.11以前からVer.1.12へバージョンアップを行った後に、DBバージョンアップ処理を実行してください。DBバージョンアップ処理が行われていない場合は、会社選択画面で該当の会社データを選択できません。
- (5) DBバージョンアップ処理の操作方法については、「Galileopt DX設定編 共通情報操作マニュアル」をご参照ください。

4. システムに関するお問い合わせ

システムに関するお問い合わせは、GOODWILL PLUSサイト「よくあるお問い合わせ」または「MJS AIアシスト」をご利用いただけます。

【GOODWILL PLUSサイト「よくあるお問い合わせ」「MJS AIアシスト」について】

GOODWILL PLUSサイトの「よくあるお問い合わせ」「MJS AIアシスト」は以下の方法で参照いただけます。

▼【Galileopt DXホームウィンドウ】



「MJS AIアシスト」とは株式会社 ミロク情報サービスが提供する製品について知りたいことを質問形式で入力することで、生成AIが回答を提示するチャット型サポートサービスです。「MJS AIアシスト」では、「よくあるお問い合わせ」「操作マニュアル」「カスタマーサービスセンターに蓄積されたナレッジ」をもとにAIが生成した回答を表示します。「MJS AIアシスト」は無料でお使いいただけます。

「MJS AIアシスト」の使用方法については、GOODWILL PLUSサイトの「よくあるお問い合わせ」のFAQ番号：12629を参照してください。

5. その他のご注意

システム使用上の注意事項については、以下のとおりです。

- (1) システム全般（インストール等）のお問い合わせは、「ソフトウェア運用支援サービス」にご加入いただいているお客様は、加入者専用電話にてお問い合わせを承ります。
- (2) 操作説明の詳細については、ヘルプ機能および各システムの操作マニュアルをご覧ください。
- (3) プログラムインストール後、データはすべて本プログラム専用となります。以前バージョンのプログラムでは使用できなくなりますのでご注意ください。

以上